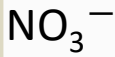


ハンディ硝酸イオンセンサ

SNNOS01 (分離プローブ)
SNNOS02 (複合プローブ)

通信機能付き硝酸イオン(NO₃⁻)センサ



硝酸イオンは、炭水化物と合成してアミノ酸、タンパク質となる重要成分です。不足すると生育不良となります。但し、多すぎると植物中にとどまり、苦み成分となります。

測定方法は2通り

● 養液タンク中の自動測定

設置すればシステムが定期的に測定してくれます。操作の必要はありません。

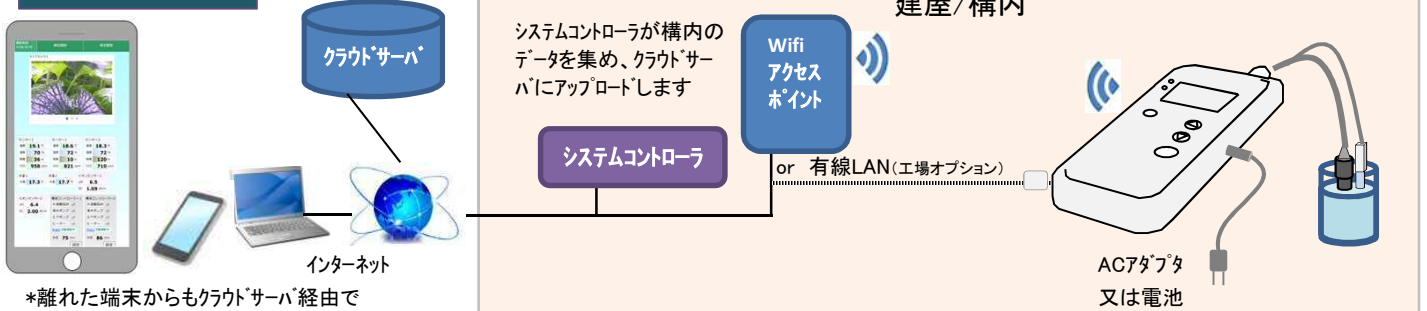
注意: 必ず1日に1回電極内部液の消耗補充と校正をしてください (校正されないと測定データの信頼性が下がります)

● 気になる養液箇所のマニュアル測定

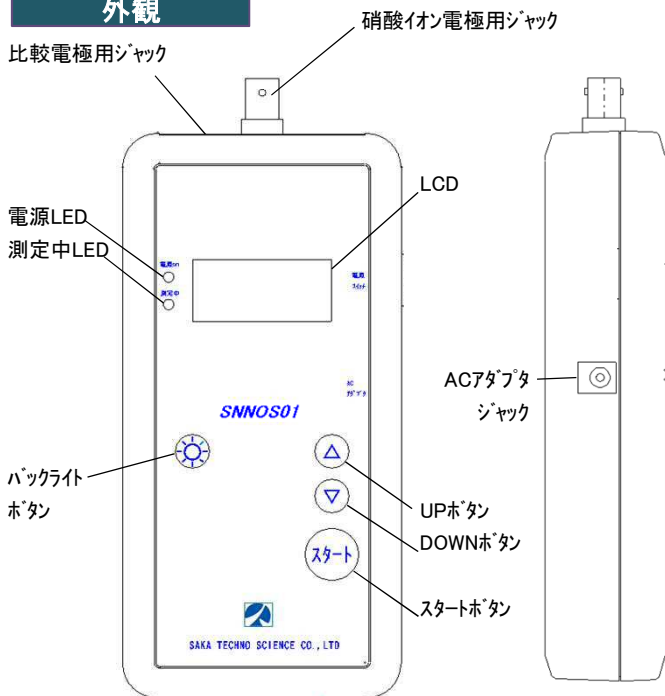
栽培レーンに供給されている養液を部分的に測定することも出来ます。気になる養液測定箇所にプローブを漬け、「スタートボタン」を押すだけです。



システム構成

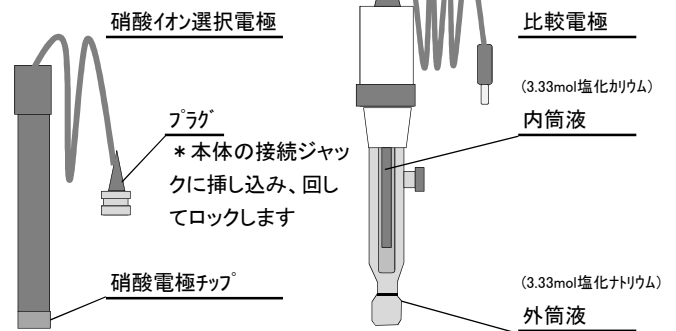


外観



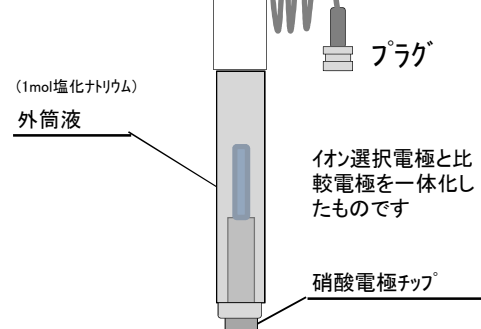
【分離プローブ】

測定するには2本の電極が必要です。



【複合プローブ】

1本の電極で測定可能です。



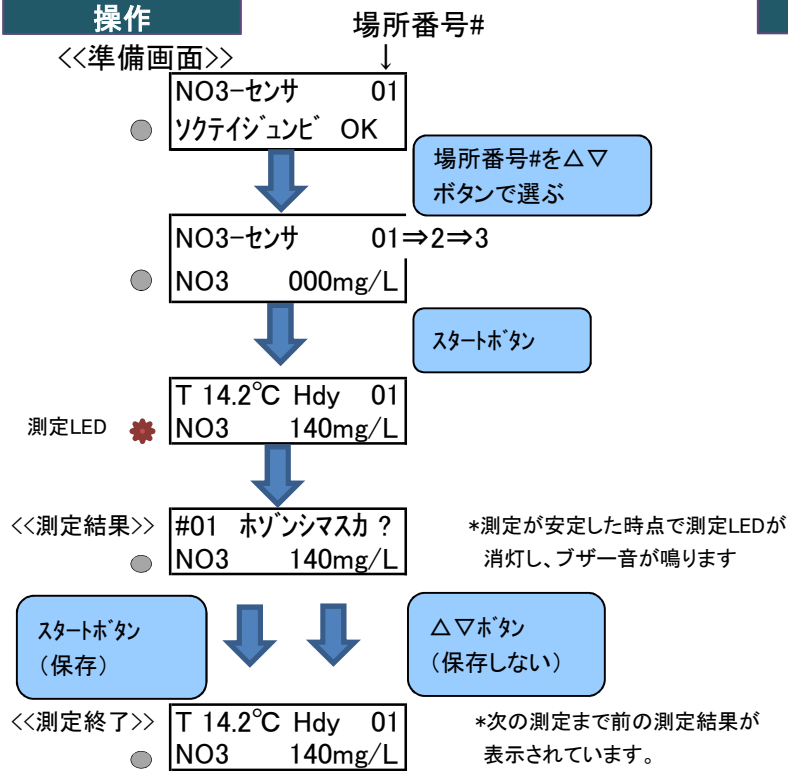
*仕様は予告無く変更される場合があります



SAKA TECHNO SCIENCE CO.,LTD.

20201026版

操作



本センサ用の電極は測定対象に浸す前に慣らし液(1mol/L 硝酸カリウム溶液)に12時間程度浸す「慣らし」が必要です。

場所番号#は予め測定する場所(タンク、レーンの特定箇所等)を決めておいて、測定時に選択することで測定結果を別々に管理するための番号です。

お手入れ

- 比較電極には「内筒液」「外筒液」の2種類の電解液を充填しておく必要があります。液面低下した時点で補充してください。
- イオン選択電極/比較電極が汚れていると正しく測定できないことがありますので、定期的に精製水などで清掃をお願いします。
- 始業前に校正をお願いします。
- イオン電極の先端にある硝酸イオンチップは消耗品です。使用半年を目途に交換をお願いします。

<使用前点検>

比較内筒液/外筒液の液面点検

イオン選択電極/比較電極の清掃

電極校正
(31mg/L標準液)

オプション

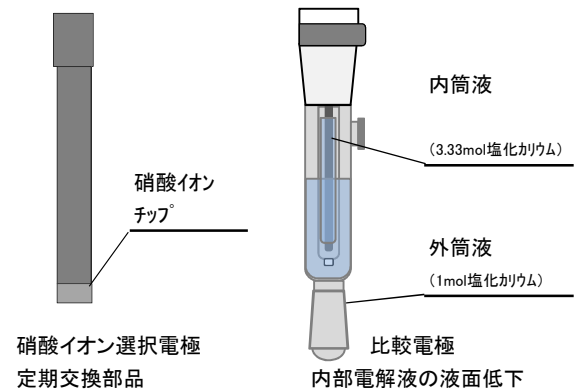
- 電極メンテナンスキット (硝酸電極用標準液/内筒液/外筒液)
- 交換用 硝酸イオンチップ (硝酸イオン選択性電極チップ)
- 有線LAN接続モジュール(出荷時に組み込みできます)

設定項目

硝酸電極校正	標準液に浸して標準値校正を行い内部メモリに書込みます	毎日始業前	スタートを押しながら電源を入れる操作
--------	----------------------------	-------	--------------------

仕様

イオン測定範囲	1~32000 mg/L
LCD	16桁×2行(キャラクタ)
操作	電源SW,操作ボタン、UP/DOWNボタン、LCDバックライト点灯ボタン
表示	電源LED,測定インジケータLED
操作音	圧電ブザー内蔵
通信方式	無線LAN IEEE802.11b,g,n 有線LAN IEEE802.3 (オプション)
通信セキュリティ	インフラストラクチャモード: WPA/WAP2-PSK, WEP(64/128bit, TKIP)
通信プロトコル	UDP/IP IGMP
ミドルウェア	オブジェクト通信制御 <搭載オブジェクト> ・硝酸イオンセンサオブジェクト ・ノードプロファイル <対応サービスコード> ・SETI/SETC/GET/INFREQ/SETGET
動作環境	温度0~70°C 湿度0~100%、結露無きこと
消費電力	最大1.3W
電源	ACアダプタ(5V) 単三アルカリ電池 4本
電池駆動時間	連続 約 15時間 (測定回数約 300回)
寸法	W95 D183 H35 (電極含まず)
重量	235g
添付品	<分離型>硝酸イオン電極×1、比較電極×1 <複合型>硝酸イオン複合電極×1 ACアダプタ、取扱い説明書



本体価格 : _____

システムソフトライセンス価格 : _____

*仕様は予告無く変更される場合があります

お問合せ先

サカ・テクノサイエンス株式会社

<http://www.sakatec.jp/>

〒920-0367 石川県金沢市北塚町西105-1

Tel 076-240-8920 FAX 076-240-8922



SAKA TECHNO SCIENCE CO.,LTD.

20201026版